

ソフトフォーカス効果を持つ ノンケミカルの中水油型日焼け止めの処方の特許登録

化粧下地機能のある日焼け止めの開発に寄与

株式会社ナリス化粧品（代表者：村岡弘義 本社：大阪市福島区）は、ソフトフォーカス効果を持つノンケミカルの中水油型（O/W型）の日焼け止めの処方開発に成功し、特許登録に至りましたので以下にその内容をまとめます。

【これまでの研究と日焼け止めの現状】

紫外線を防ぐ成分は、一般的に「ノンケミカル」と呼ばれる紫外線散乱剤と、「ケミカル」と呼ばれる紫外線吸収剤に大別されます。紫外線散乱剤は紫外線を反射・散乱させること、紫外線吸収剤は、紫外線を吸収して熱などに交換することで紫外線を防止しています。当社では、ノンケミカル処方とケミカル処方の両方を開発していますが、両者を比較するとノンケミカル処方は、肌への刺激が少ないものの使用感などのパフォーマンス面で処方設計が難しく、ケミカル処方は透明感や使用感の良い処方設計をしやすいものの敏感肌の人には肌に刺激が出ることがあります。一年を通して夏の長期化と猛暑化傾向にある近年の環境下において、日焼け止めは多くの人に使用されるアイテムとなり、かつ多くの人が長期間使うことで、紫外線防止以外のスキンケア効果や肌をきれいに見せるなど、プラスアルファの機能が求められるよう変化してきています。

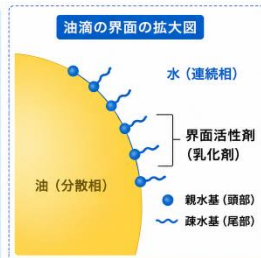
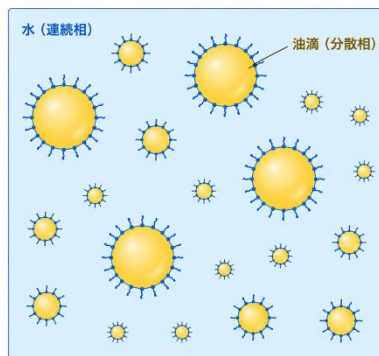
また、乳化状態は水分の中に油分が分散されている「水中油型（O/W型）」と、油分の中に水分が分散している「油中水型（W/O型）」に分かれますが、べたつきのない使用感をより作りやすいのは、「水中油型」です。当社でも、快適な使用感を求めて「水中油型」で、安全性の高いノンケミカルの日焼け止めの開発に取り組んできましたが、高SPF値を実現できない、乳化が不安定になるという課題を抱えていました。

【特許の内容】

今回特許登録に至った技術は、隠蔽性と光学補正効果のバランスを取ることに成功した紫外線吸収剤を含まないノンケミカルの中水油型日焼け止めを作るものです。高いSPF値を実現することに加えて、サラサラとした快適な使用感や、肌色の補正をするだけでなく、毛穴やシワなどの肌の凹凸を補正するソフトフォーカス効果を実現していることが特徴です。単にノンケミカルで中水油型の日焼け止めの処方開発に成功しただけにとどまらず、今後求められるであろう日焼け止めのプラスアルファの機能にも対応した新しい処方技術であると考えます。

水中油型（O/W型）のイメージ図

油滴（分散相）が水（連続相）中に分散している状態



左：素肌 右：研究品を塗布した状態

【特許登録番号】7846496

【登録日】2026年4月7日

【名称】水中油型日焼け止め組成物

【本件に関するお問い合わせ】株式会社 ナリス化粧品 経営企画室 広報 横谷(よこたに)
〒553-0001 大阪市福島区海老江1丁目11番17号 TEL:06-6346-6672
FAX:06-6346-6569 E-mail:narispr@naris.co.jp HP:www.naris.co.jp